

### 自治基本条例制定 市民の町会等へのかかわりは

田村昌巳 議員

質問 町会・自治会等への未加入問題が、まちづくりの中核となる地域活動団体の育成という面から大きな課題となっている。自治基本条例制定で意識は変わるか伺いたい。

市長 市民参画や協働が進む状況から、まちづくりへの市民参加の仕組み、自治基本条例等の制定も必要と考えており、職員のプロジェクチームで検討している。市民自治は、市民一人ひとりが、自分が何をすべきか主体的に考え、行動することが

必要である。情報の共有や協働を進める中で、市民意識の醸成を図り、地域活動への参加へとつなげたい。

▼福生商店街協同組合全景



## 一般質問 (要旨)

### 市政のここが聞きたい

今定例会では、20人の議員が一般質問を行い、市政全般にわたり市長にいただきました。質問の概略の掲載は一問とさせていただきます3から5ページに掲載しました。一般質問の項目は6ページにすべて掲載させていただきました。詳しくは、2月下旬発行予定の会議録を市役所情報コーナー及び図書館でご覧いただくか、福生市のホームページからご覧ください。

なお、この一般質問の内容は、質問議員に確認しています。

### 牛浜駅整備 経過と計画は

原島貞夫 議員

質問 牛浜駅については、今まで何回もバリアフリー化した駅舎への建て替えを要望してきたが、前回の答弁以後の経過と今後の計画について伺いたい。

市長 平成17年度にJRはバリアフリー設備設置に伴う基本調査を実施し、昇降機設備設計等駅舎を含め配置案、概算工事費を提案してきたが、築40年の駅舎は全面的改修計画も必要となっている。今後、基本調査に基づき協議していくが、市施設

の階段もあり、一部工事費負担発生も考えられるので、議会にも相談しつつ方向を決めていきたい。

▼整備が待たれる牛浜駅



### 19年度予算編成 基本的な考え方は

森田昌巳 議員

質問 財政状況と平成19年度予算編成の基本的な考え方を伺いたい。

市長 決算では、ピーク時に比べ市税と地方交付税で約19億円以上減少している。借入金で対応してきたが、住民税減税補てん債と臨時財政対策債の借入残高は約51億円である。予算編成は、次の5つを基本とした。①総合計画に基づく財源の重点的、効果的配分、②負担を後世に残さない予算編成、③市税等未納者への取組強化と経費の削減等による

健全化、④事務事業の精査、⑤緊急性、費用対効果等を勘案した新規事業等に対する予算措置。

▼予算編成(四役査定)



### 心の教育担う教員の資質とは

沼崎満子 議員

質問 「いじめを苦に」として自殺が相次いでおり、心も体も成長途上にある児童・生徒に他人の痛み、思いやり等を考えさせる心の教育の必要性を感じるが、指導する教員の人としての資質はどうあるべきで、研修等はどのようになっているのか。

教育長 求められる資質は多岐に及ぶが、子どもが好き、意欲的に教育に取り組む、わかりやすい授業を進めるなどで、常に自己研さんに励む必要がある。また初任者研修や年次

別研修等数多く開催し、学校ごとに毎年テーマを決め校内研究に取り組むなど資質向上の一助にしている。

▼第7小学校の授業風景



### いじめ その現状と対策は

大野 聡 議員

質問 いじめによる子どもの自殺が多発している中、どうしたらいじめはなくなるのか、自殺は防げるのか大きな課題だが、小・中学校におけるいじめの現状とその具体的対応、今後の取り組みを伺いたい。

教育長 11月に実施した小・中学校のいじめの現状の調査で小学校9件、中学校で17件のいじめを確認した。学校訪問、校長会等での研修を含めさまざまな取り組みが各学校でもなされたが、未然に防止するため、今後、

児童・生徒に命を大切にすることを育む指導、教員の指導力向上、保護者への啓発等していきたい。

▼いじめ関連の報道



### 自由広場 所管替えの理由は

増田俊一 議員

質問 市内最大の空き地として市民の皆さんが関心を持っている自由広場が、ここに来て所管替えの動きがあったと聞かすが、その理由及び時期、手続と、特に旧地主さんへの納得する説明についての考えはどうか。

教育長 この用地は、昭和60年から教育用行政財産として教育委員会が管理してきたが、児童・生徒の減少で学校新設の状況にないところから、平成19年3月末日をもち市長部局へ所管替えすることに決定した。

市民の利用上の変化は当面はなく、6名の地権者には個々に直接経過等を説明し、御理解いただいた。

▼自由広場の現状



### 公立福生病院 現状はどうか

清水信作 議員

質問 近年、全国的な医師不足が生じ、福生病院も休診等を余儀なくされた診療科もあったが、現在は産婦人科も入院・出産が可能になりひと安心だが、現在、常勤医師を初め医療施設としての充実度はどうか。

市長 病院を挙げて努力し、徐々に医師も確保でき、入院患者も増え、分娩も伸びている。平成20年度一期オープンに向け高度医療機器の購入を図り、平成21年度の全面開院時の必要医師を56名とし、増員を図って

いる。また、開業医を登録医にして一貫した治療を行う地域一体型の開放型病院の取り組みも行っている。

▼建築中の公立福生病院

